

事務事業番号 30845

事務事業名		楽寿荘維持管理事業											
事業開始年度		平成12年度				担当部署		福祉部 高齢社会室					
根拠法令		老人福祉法第15条第5項、枚方市立老人福祉センター楽寿荘条例											
実施方法		■直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者：)											
		□その他()											
目 的 (何のために)		地域の高齢者・市民の憩いの場である老人福祉センター楽寿荘の施設維持管理を行う。											
対 象 (誰・何を対象に)		高齢者・市民等											
事業内容		受付業務、屋外清掃等業務はシルバー人材センターに委託。 利用時間は、午前10時から午後8時30分(毎週木曜日及び年末年始は休館)。 老朽化による改修工事のため、平成22年8月31日より一時休館。23年4月1日にリニューアルオープン。											
類似事業		総合福祉センター維持管理事業											
事業の必要性		市として、多くの高齢者が生きがいづくりにつながる活動を実施する場を提供する必要があると考えるため。											
コ ス ト													
		H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員		0.60	人	4,868	千円	0.60	人	4,854	千円	0.10	人	800	千円
再任用職員		1.00	人	3,508	千円	1.00	人	3,450	千円	1.00	人	3,471	千円
非常勤職員等			人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)		8,376			千円	8,304			千円	4,271			千円
直接経費(B)		5,128			千円	11,845			千円	16,306			千円
総事業費(A+B)		13,504			千円	20,149			千円	20,577			千円
財源内訳													
		H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
国庫支出金		0		千円	0		千円	0		0		千円	
府支出金		0		千円	792		千円	0		0		千円	
受益者負担 (使用料等)		1,073		千円	2,649		千円	3,487		3,487		千円	
その他		0		千円	234		千円	0		0		千円	
一般財源		12,431		千円	16,474		千円	17,090		17,090		千円	
平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)		内 容									金 額		
		各種委託料(受付等業務、消防設備点検等) (委託料 8,752)									8,752 千円		
		楽寿荘共用備品購入経費 (備品購入費234)									234 千円		
		諸経費 (消耗品費103、印刷製本費12、光熱水費1,554、修繕料209、飼料費4、通信運搬費120、備品購入費61、負担金4)									2,067 千円		
		地域支え合い体制づくり事業 (消耗品費4、備品購入費788)									792 千円		

事業概要説明シート

事務事業番号 30845

事務事業名	楽寿荘維持管理事業		
事業開始年度	平成12年度	担当部署	福祉部 高齢社会室

活動実績	活動指標もしくは成果指標		単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 年間利用者数		人	5,585	13,210	15,000
	②					
	③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷年間利用者数		円	2,418	1,525	1,372
	②					
	③					
成果目標 (目標とする成果)	多くの高齢者の生きがいがいづくりと健康づくりに寄与していくため、楽寿荘の利用者数の拡大を図っていく。					
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	把握していない。					
特記事項	平成23年度5月と11・12月に、楽寿荘リニューアル後の施設の印象、職員の対応などについて、利用者アンケートを実施した。 施設の印象について、約87%の方が「おおむね良い」又は「良い」と回答し、概ね好評を得ている。					
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善		市主催の生きがいがいづくりにつながる教養講座の充実や、介護予防事業の実施場所として活用するなど、利用促進を図る。			
一次評価結果	・指定管理者制度を導入した場合の効果について、検証の必要があるのでは ・施設管理者に関する民間運営の可能性等の検討が必要では					
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続		今後も利用率向上に向けて楽寿荘において教養講座や介護予防事業を実施する。 現在、楽寿荘の受付業務等は、再任用職員1名とシルバー人材センターへの委託(1人あたり時間単価861円)で行っている。 平成23年度実績で、シルバー人材センターへの委託料は7,662,894円、営業時間(準備時間を含む)1時間あたりの所要額は2,060円であり、1時間あたりの所要額2,060円を1人あたり時間単価861円で除すと平均従事者数は約2.4人となっていて、再任用職員1名を含め約3.4名で運営を行っている。楽寿荘の建物規模(建物面積899㎡、敷地面積7,315㎡)及び開所時間数を考慮すると効率的な運営を行っていると考えている。 また、受付業務等委託料に再任用職員の人件費を含めると、楽寿荘の運営に係る人件費は約11,113千円である。楽寿荘に指定管理者制度を導入した場合、現在の人件費11,113千円を再任用職員1人当たりの人件費約345万円を除くと約3人しか雇用できず、現在のとおり楽寿荘を運営することは困難であると推測される。 さらに、楽寿荘の受付業務は比較的軽易で高齢者の就業に最適であり、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条で、地方公共団体が努めるものとされている高齢者の雇用・就業を促進するため、引き続き受付業務等をシルバー人材センターに委託して、高齢者の就業機会の確保と人件費などの経費節減を図っていく。			